

ブルドッグ魂で三重苦を乗り越えよう

—食いついたら離すな、あきらめたらおしまい—

開倫ユネスコ協会
会長 林 明 夫

1. 東日本大震災、津波、放射能被害という「三重苦」の中、第 11 回足利杯ミニバスケット選手権大会に御参加下さいました被災地からのチームの皆様、ようこそ足利にいらっしゃいました。開倫ユネスコ協会を代表し、心より歓迎申し上げます。
2. さて、本大会の創始者のお一人である岡田忠治先生は、私の中学校時代のクラス担任であり、ことあるごとに「食いついたら離すな」の「ブルドッグ魂」でがんばれと教え子である私たちを励まして下さいました。
3. 私は、この「食いついたら離すな」の「ブルドッグ魂」で本大会に御参加の皆様、特に、被災地から御参加の皆様ががんばっていただきたく希望します。
4. あきらめたらおしまいです。ミニバスケットもこれからの生活も、「ブルドッグ魂」でがんばろうではありませんか。
5. 本大会を運営するにあたり、御指導・御支援を賜りました皆様に心から感謝申し上げます。子どもたちのために、これからもどうかよろしくお願い申し上げます。

感謝

— 2011 年 11 月 20 日記 —